

コンサートノート

みずとひ 水土日コンサート

8月3日



8月3日、日本最大の民間団地として埼玉県志木市に現在建設中の志木ニュータウンで、すでに入居している新住民を集めての演奏会が開かれた。高橋正利、西垣宗英のギター独奏に続いて、立川叔男、和子、雅子、川田弘

之の4人による「^{いつも}樹と家族古楽コンサート」が、レベック、フィドル、リュート等の珍しい古楽器を使い、中世音楽を演奏した。またお客さんも打楽器やコーラスで演奏に参加するなごやかな会であった。

第4回小山文雄ギターリサイタル

7月12日

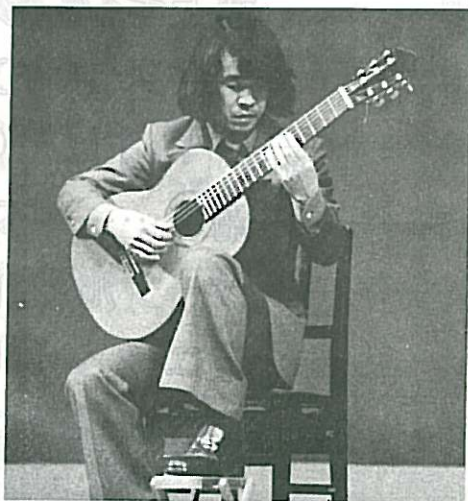
ルーテル市ヶ谷センター

ちばぎたあひの会、武井賞発表演奏会、毎年開催している門下生との演奏会等盛んに活躍している小山文雄が第4回リサイタルを行った。3年振りということで意気込みもひとしおのようで、会場は超満員の聴衆で埋められた。

プログラムは中間に今野有二(客演)とによるデュオを挟んだ下記のような三部構成になっていた。邦人の作品に味があり、10数年来コンビを組んでいるという今野有二とのデュオは余裕を感じさせる好演であった。

プログラム

- I 涙のパヴァーヌ(J. ダウランド), ドビュッシー賛歌(M. デ・ファリャ), エピターズ(三善 晃)



- II オリエンタル(E. グラナドス), 箏曲千鳥による二重奏曲(小原安正), 亡き王女のためのパヴァーヌ(ラヴェル), 粉屋の踊り(M. デ・ファリャ)

- III ティエント(M. オアナ), 波紋(林光), 聖母の御子・盗賊の歌(カタロニア民謡), 南のソナチネ(M. ポンセ)

都響ファミリーコンサート アランフェス協奏曲

8月8日

東京・杉並公会堂



指揮、外山雄三、ギター、芳志戸幹雄による。アランフェス協奏曲/ロドリゴ、が都響ファミリーコンサートで演奏された。

当夜は、小編成オーケストラの為の作品が並べられ、また家族づれが多かったせいか、いつものコンサートの様な緊張感が会場には少なく、大きな会場ながら、わりとサロンの雰囲気を楽しむことが出来た。

アランフェス協奏曲では、マイクを使用しなかった為に多少のリキミがあったのか、低

音ブのピリツキがあったが、良く通る音で、オケとの意気も合った素晴らしい演奏であった。

聴衆のほとんどは、いわゆる一般的な音楽ファンや子供が多く、ギター協奏曲を生ではじめて聴いた人も多かったと思う。そんな中で、ギターという楽器の持つ素晴らしい可能性を認識させたということは、これからのギター界にとっても、大きな意味を持つことであろう。

尚、他のプログラムは次のとおりで、モー

ツェルト／喜遊曲第2番ニ長調(K131),プーランク／フランス組曲, イベール／喜遊曲, いづれも好演であった。また、都響ならではのかもしれないが、入場料も安く家族そろって行ける会が、他にも多く催されることを願ってやまない。



ギターとピアノのためのコンサート

8月29日
銀座石亭SGホール

8月29日、銀座石亭SGホールで篠原正志(ギター)と梅山秀一(ピアノ)による“ギターとピアノのためのコンサート”が行なわれた。会場は開演前から満席で、この夜の篠原のプログラムの選択の良さを再認識させられた。

第一部は篠原のギター独奏であり名曲4曲が組み込まれ、『リュートの為の6つの小品』、ソルの『魔笛による主題と変奏』、グラナドスの『スペイン舞曲第5番』、ブローウェルの『舞踏礼讃』であった。落ち着いた音楽の中に特として胸の高なりを覚える心にくいロマンチズムがある彼の音楽がソル、グラナドスには見られたし、またブローウェルは緩急のバランスがとれており非常に聞きやすいものであった。また前述した様に彼は演奏会に対する考え方が聴衆の側に立ったものであり、この夜の聴衆はおそらくこれらの曲に満足していたに違いない。

第2部はピアノ独奏で梅山秀一自身の作曲による4つの小品が演奏された。

第3部はこの夜のメインプログラム『アランフェス協奏曲』がギターとピアノのデュオで演奏されたが篠原はこの曲を完全にこなしていてスペインの情緒をかもし出していた。



この小ホールは正面後方に陶磁器の置きものがあり少々異様な雰囲気であるが、ギターや室内楽には適当なホールであるので今後使用されることが多くなるであろう。

黒江 春海

特報

セゴビア、パリコン観賞とスペインの旅13日間

〈1980年10月18日(出)～30日(休)〉

セゴビアのリサイタルを2回、ジョン・ワイリウムス、アニー・ミルク、ミルスを各1回聴いて、更に第23回パリコンを鑑賞し、更に更にギターファンの心のふるさとスペインを訪れる盛り沢山の旅をギターラ社と日通航空がお贈りします。スペインでは、有名ギター購入案内も従来通り喜こんでいただけましょう。さあ、この又とないチャンスをしっかりつかんで下さい。只今、募集中です。

費用：459,000円 共催：ギターラ社、日通航空
定員：30名様(先着順) 後援：フランス国営放送(ラジオ・フランス)

月日	都市名	講要	コンサート・プログラム
1980年10月18日(出)	東京(成田)発 (アンカレッジ経由)	夜、大型ジェット機にて北極経由ヨーロッパへ。 (機中泊)	
19日(出)	ロンドン着	朝、到着後、ロンドン市内観光です。 夕刻、早速コンサートへ。(ロンドン泊)	[コンサート] アンドレス・セゴビア
20日(出)	ロンドン	終日、自由行動です。(ロンドン泊)	
21日(出)	ロンドン	終日、自由行動です。 ☆ご希望者は半日ウインザー城ツアーへ。(ロンドン泊)	[コンサート] ジョン・ワイリウムス
22日(休)	ロンドン発 パリ着	午前中、自由行動です。 午後、飛行機でパリへ。夜はコンサートへ。(パリ泊)	[コンサート] マリア・ルイサ・アニー
23日(休)	パリ	午前中、パリ市内観光です。 午後、自由行動です。(パリ泊)	[コンサート] ジョン・ミルス 作曲部門本選
24日(休)	パリ	終日、自由行動です。 ☆ご希望者はベルサイユ宮殿半日ツアーへ。(パリ泊)	[コンサート] ウラジミール・ミルク 作曲部門本選
25日(出)	パリ発	夕刻まで自由行動です。 夜行列車にてあごのスペインへ。(車中泊)	
26日(出)	マドリード着	早朝到着。午前中、市内観光。 ☆ご希望者は闘牛見物へ。(マドリード泊)	
27日(出)	マドリード	終日、自由行動です。(ギター工房巡り) ☆ご希望者はグラナダ(アルハンブラ宮殿)日帰りツアーへ。(マドリード泊)	
28日(休)	マドリード発 ロンドン着	昼過ぎまで自由行動です。(ギター工房巡り) 夕刻、飛行機で再びロンドンへ。(ロンドン泊)	[コンサート] アンドレス・セゴビア
29日(休)	ロンドン発 (アンカレッジ経由)	午前中、自由行動です。午後、おもいで多いヨーロッパを 後に空路帰国の途に。(機中泊)	
30日(休)	東京(成田)着	到着後、入国手続き終了後、自由解散です。	

くわいVインプレットの用意がありますので、ご請求下さい。尚、パンフレットはジョン・ワイリウムスリサイタルの情報キャッチ前に作成されましたので旅程は上記の通り変更になりましたので、ご注意ください。(出発、帰国日は同じです)

初心者歓迎 ギター・リコーダー・チェンバロ教室

クラシックギターの総合専門店

キオリス社

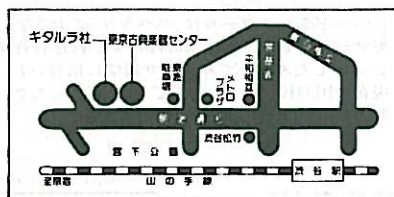
〒150 東京都渋谷区渋谷1-23-21 ☎(03)409-3395

ルネサンス・バロック楽器の殿堂

東京古典楽器センター

〒150 東京都渋谷区渋谷1-23-19 ☎(03)409-3396

営業時間11—7時毎月曜定休



●スタッフの間では最近草野球の話とともに、徳二、坂爪を中心に釣りキチが増えつつあります。こういうレジャーとか、飲む話になると何はおいでも一致団決するのが我等スタッフの特長。

山での講習会の後は、ギターニュース主催釣り大会を開こう、と一同意気盛ん。

その節はぜひ御参加を！ 芳志戸

●人間の性格や個性というものは、なにかに熱中している時、それも特に楽しいことに熱中している時に一番良く表われる様です。

そういう意味で、釣りをしている時の人間はおもしろいと思います。また、不思議なもので、まわりがみんな釣れている時、なぜか一人だけ釣れない人がいたりするものです。

マア、誰か釣れて、誰か釣れなかったかはナイショの話ですが。とにかく釣りは楽しいものですヨ。釣り大会開催の折にはみなさんぜひどうぞ！

坂爪

●先日、友人と飲んでいる時、"明日は編集会議だ"と云うと"再た宴会?"と云われました。節酒を決意した……………モロ

●いよいよコンサートシーズンの開幕ですね。楽しいシーズンです。できるだけ聴きに出かけたと思います。片岡

●ついに、念願かなって我が地、横浜本牧にて小物釣りが出来ました。実に楽しく勿論大漁で、後で供養はちゃんとビールを飲みながらすまし、料理もうまく行って申し分の無い夏の日でした。

徳二

●今月号の編集は、今までになく大変でした。コンサートの少ない8月でしたので、コンサート・ノートもちょっと少なめになりました。また、長野での講習会を控えて、その準備と重なったり、講習会の前に校正を済ませるために原稿も急ぎました。この号が、出るころには、講習会も盛会のうちに終わっていることでしょう。講習会には、遠く札幌からの参加申し込みもあって(私も札幌育ちですが)、予想以上の反響に喜んでいます。次号には、その講習会の報告も載せる予定です。是非、お楽しみに！ 前川

月刊 ギターニュース
 昭和55年10月1日発行
 発行所 社団法人日本ギター連盟
 〒164 東京都中野区中野
 2-21-4
 TEL 03(383)1819
 発行責任者 荘村正人
 編集責任者 芳志戸幹雄
 印刷 刷銀座印刷
 定価 200円

最近、本誌のバックナンバーについての問い合わせが大変多くなりました。バックナンバーを御希望の方は、現全書留にて編集部までお申し込み下さい。(送料は一冊につき40円です)

音楽する喜びをあなたに

—ギターラ社にお任せ下さい—

大衆ギター
 国産手工ギター
 輸入高級ギター
 リュート、ビエラ
 チェンバロ
 バイプオルガン
 リコーダー
 ヴィオラ・ダ・ガンバ
 トラベルソ
 他古典楽器
 楽譜・弦・備品



ギター教室
 *クラシック
 今野有二(木)
 篠原正志(金)
 浜田三彦(木)
 小山勝(木)
 リコーダー教室
 大竹尚之(木)
 飯室謙(木)
 品川治夫(金)
 チェンバロ教室
 秋光豊子(木)
 及川真理子(木)
 入会随時
 初心者歓迎



ギターラ社 〒150 東京都渋谷区渋谷1-23-21 ☎(03)409-3395
 東京古典楽器センター 〒150 東京都渋谷区渋谷1-23-19 ☎(03)409-3396